



茅小だより

平成30年 7月号
茅ヶ崎市立茅ヶ崎小学校
校長 野上 浩

学校教育目標 『心身共にたくましく、自ら学ぶ、心豊かな子どもの育成』

めざす子ども像

◇明るく元気で、思いやりのある子 ◇進んで行き、最後までがんばる子 ◇自分で考え、自分で創りだす子

交通安全

茅ヶ崎小学校の児童が登校する時間帯は朝の通勤・通学ラッシュと重なり、通学路は自動車や自転車、歩行者で一杯です。私も高砂コミセンの前で旗振りをしているので分かりますが、児童の安全はPTAや地域の方々のご協力により守られていると思っています。いつもありがとうございます。逆に、旗振りのない場所や下校時は、「自分の命は自分で守る」ことが大切になってきます。横断歩道の前でいったん止まり、左右の安全確認してから自分の判断で渡ることが必要になってきます。

日本自動車連盟（JAF）が全国94カ所で2016・2017年の2年間にわたって調査した結果によると、「信号機のない横断歩道の近くに歩行者がいた時に停車した」ドライバーは7～8%だったそうです。つまり停車しないドライバーが90%を超えることを意味します。ちなみに、横断歩道は歩行者優先ですので、停車しないと道路交通法違反に問われることもあります。今年になり、停車するドライバーが増えてきているような気がします。対向車が止まらずに危ないケースがよくあります。さらには、車が両方とも止まっても、その脇を自転車が通り過ぎることはしょっちゅうです。茅ヶ崎市は自転車の交通量が多い市ですが、自転車に乗る人のマナーは悪く、自転車が軽車両で交通ルールを守らなければいけないということを知らないで乗っている人も多いようです。

6月20日（水）2年生の「自転車乗り方教室」は、雨天により体育館（ビデオ視聴は多目的室）で行いました。借用する自転車を学校まで持ってくる手間や、自分の自転車ではないことによるのりにくさ等を考え、今年から「ひもハンドル」を使用しての乗り方教室にしました。保護者の皆さんには手伝いボランティアをしていただき、ありがとうございました。茅ヶ崎市内では小学生の自転車事故が数多く発生しています。「自分の命は自分で守る」をキーワードにして、交通ルールをきちんと守ることを改めて指導していきたいと思えます。保護者や地域の方々も「雨の日に自転車に乗る時は傘をささない等、片手運転をしない」「一時停止を守る」「横断歩道の所に人がいたら止まる」等、児童のお手本となるような行動をよろしく願います。（裏面も参考にしてください）



JR安全マナー教室

JR茅ヶ崎駅のマナーアップキャンペーンに関わり、有志の児童が取り組んだポスターが、6月中旬から駅構内の連絡通路に掲示されています。マナーアップの構内放送も2年前のものから6年生が今年録音したものに切り替わりました。また、夏休みに行っている「安全マナー教室」の募集が間もなくあります。相模線茅ヶ崎駅の引込線で、制服・制帽を着用して乗務員や運転台、駅員の体験などができる減多にないチャンスですので、趣旨ご理解の上、奮っての応募をお願いします。